

多文化公共圏フォーラムについて

国際学部附属多文化公共圏センター長 米山正文

宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センターは、よりよい世界を目指し、大学と社会との連携を強め、学際的・国際的な知を基礎に、様々な取り組みを促進するプラットフォームの役割を担っています。センターの活動は地域貢献・研究・教育にまたがるものですが、その成果をより広く社会に発信し、社会との連携を強めるため、昨年度より、高橋若菜前センター長の先導のもと、「多文化公共圏フォーラム」を開始しました。それまで個々に開催されていた各事業やプロジェクトのイベントを一般公開し、多文化公共圏フォーラムという名称で統一して、シリーズ化することにしました。こうしたイベントは、セミナーや勉強会、講演会やシンポジウムなど多岐にわたっています。

また、事業やプロジェクトだけではなく、新設科目「多文化公共圏実践演習（グローバル／グローバル）」や、事業等に関連する授業の一部も一般公開し、フォーラムに加えることにしました。一方、このフォーラムの管理を、コーディネータのあらたな主要職務とし、チラシの作成、センターや大学のホームページでのお知らせ、会場の準備等、フォーラムの開催を円滑に進めるため体制も整えました。こうした一連の改革により、多文化公共圏センターの成果をより多くの方々に届け、多様な立場からの自由な意見交換や議論の場の創出により貢献できるようになったと考えています。

多文化公共圏フォーラムを開始した昨年度は、合計で28回の開催をみました。福島原発震災に関する研究フォーラム、UU3S、日光プロジェクト、多様な学び研究会、国際平和と人

権人道法研究会などの各事業のイベントのほか、「多文化公共圏実践演習（グローバル／グローバル）」「アフリカ論」「3.11と学問の不確かさ」「途上国経済発展論」「Comparative Study of Culture」などの授業の一部もフォーラムとして公開しました。詳しくは、昨年度の『年報』のチラシや「活動報告」、センターのホームページをご覧ください。幸いです。

『年報』の電子データは、宇都宮大学図書館の学術情報リポジトリでオンライン上でも閲覧可能となっています。

今年度については、2023年12月現在で30回まで予定されており、12月初頭の時点で24回開催され、参加人数はのべ974名に達しています。今年度のフォーラムの実績については次ページの表をご参照ください。多文化公共圏フォーラムは対面だけでなく、オンラインやハイブリッド形式でも開催され、また日英語併用で実施されることもあり、より多くの方々が参加しやすい環境づくりもなされています。今後も多様な興味関心や問題意識をもった方々に幅広く発信し、気軽に参加いただけるよう努めてまいります。

「フォーラム（forum）」という英語は辞書によると、もともと古代ローマにあった、市場や集会、裁判などのための広場の名称からきているようです。多文化公共圏センターの「公共圏」とは「多様な意見を集約して合意を形成する場としての公共圏」という意味合いですが、フォーラムはこうした場になりうるもの、あるいは場の形成に貢献するものであると考えております。今後とも、よりよい公共圏の構築に寄与できるよう、多くの皆様よりご指導やご助言

を賜れば幸甚に存じます。

最後になりますが、昨年度より、このフォー

ラムの運営をコーディネータとして担当いただ

いている田宮純子氏に感謝いたします。

2023 年度 多文化公共圏フォーラム一覧

- 第1回 自主夜間中学について考える研修会 第3回「愛知・名古屋からの実践報告と問題提起」
(2023年5月4日)
- 第2回 社会共創ハイブリッド型ワークショップ：カーボンニュートラルな栃木県を目指して～日本
の盲点・エネルギー効率改善を考える～ (2023年5月27日)
- 第3回 多文化公共圏実践演習 (グローバルA) 公開授業：エバ・シュロス『エヴァの震える朝 —
15歳の少女が生き抜いたアウシュヴィッツ』を読む (2023年6月8日)
- 第4回 自主夜間中学について考える研修会 第4回「日本語学習応援者が知っておいたら役に立
つ (かもしれない) こと」 (2023年6月3日)
- 第5回 東ティモールの平和と外交 (2023年6月3日)
- 第6回 アフリカ論公開授業「ガーナにおける国際協力の現場」 (2023年6月29日)
- 第7回 宇大生によるSDGs映画上映会「プラスチックの海」—私たちが、加害者でも被害者でも居
続けないために (2023年7月22日)
- 第8回 ASEAN Community Building: Progress, Challenges, and Future Directions (2023年6月28日)
- 第9回 自主夜間中学について考える研修会 第5回「我孫子、京都からの実践報告と意見交換」
(2023年7月22日)
- 第10回 基盤教育科目「3.11と学問の不確かさ」公開授業：なぜ脱原発する必要があるのか (福島原
発震災に関する研究フォーラム) (2023年7月26日)
- 第11回 自主夜間中学について考える研修会 第6回「日本語学習応援者が知っておいたら役に立
つ (かもしれない) こと (Part II)」 (2023年9月2日)
- 第12回 オンライン国際交流2023/チェコ共和国 (全8回) (2023年10月13日から12月8日まで、祝
日除く毎週金曜日)
- 第20回 自主夜間中学について考える研修会 第7回「トピックシラバスの教え方を考える～日本
語学習者として日本語の授業を体験しよう!～」 (2023年10月7日)
- 第21回 自主夜間中学について考える研修会 第8回「川口からの実践報告と意見交換」 (2023年
10月21日)
- 第22回 What is interdisciplinary research for sustainable transition? Some possible examples from my work
in Brazil and Uganda/持続可能な移行に向けた学術的研究とは? —ブラジル/ウガンダでの国
際共同研究をもととして (2023年10月25日)
- 第23回 自主夜間中学について考える研修会 第9回「北海道・釧路からの実践報告と意見交換」
(2023年11月10日)
- 第24回 How can governance support energy efficiency in the residential sector? A Case of Geothermal
Heatpump in Sweden/住宅セクターにおけるエネルギー効率改善を支援するガバナンス: ス
ウェーデンの地中熱ヒートポンプを事例として (2023年11月29日)
- 第25回 「途上国経済発展論」公開授業：持続可能な地球社会に向けた革新的政策と制度の考察 ～
グローバル・タックス、GBI、世界政府を中心に～ (2024年1月11日)
- 第26回 チェコ音楽の夕べ：プラハのピアニスト福田美穂コンサート (2024年1月16日)
- 第27回 難民支援の近年の動向とHDPネクサス (2024年1月19日)
- 第28回 カーボンニュートラルを実現するまちづくり～エネルギーの地産地消のすすめかた～
(2024年1月24日)

*2024年1月までに開催されたもの。以降、2023年度は計30回のフォーラムを開催予定。